

JASIS2015 へのいざない



野 元 政 男

『JASIS』（ジャシス-Japan Analytical & Scientific Instruments Show）は、分析機器・科学機器分野でアジア最大級の国際競争力ある大型展示会を目指すため、2012年に「分析展・科学機器展」から名称を改め、2015年で第4回を迎えます。分析展や科学機器展としての歴史も合わせると、半世紀以上にわたり、この分野に関するソリューションを皆様に提供してきたことになります。JASISの企画運営は、出展社より派遣された委員によって構成されるJASIS委員会が行っています。全委員が、分析機器・理化学機器メーカーまたは代理店としての日頃の活動において汲み取ったお客様のご要望を運営に反映させるべく日々活動しています。

キャッチフレーズ「未来発見。」を掲げたJASIS2015では、展示会のみならず、多彩なコンテンツが企画されています。では、それらを順にご紹介いたします。

JASIS2015は、展示規模3万m²以上、出展社数500社、来場者数3万人を目指し、9月2日（水）～4日（金）に幕張メッセで開催されます。展示会のみならず、一部コンファレンスを除き、入場無料です。

例年大好評の「新技術説明会」は、3日間で350件以上の発表が行われ、延べ約1.4万人が聴講されるセミナー群です。JASIS出展企業により質量分析、表面分析、X線分析、分離分析、熱分析、前処理など多岐にわたる最先端情報が提供されます。

分析・理化学機器初心者からエキスパートの方までを対象とした「JASISコンファレンス」は、約30の公的団体による50以上のセッションにより構成され、例年好評の米国、英国、アジア地域の最新情報を提供する国際的なセッションが今年も予定されています。

このほか、サイエンスセミナー「人工知能：ロボットは東大に入れるか？」や、日本薬局方セミナー「第17改正へ向けて」も無料で聴講いただけます。

2013年にスタートした特別企画「先端診断イノベーションゾーン」は、従来以上にコンテンツの充実をはかります。個別化医療・先端創薬でのコンパニオン診断開発に代表される「先端診断領域」での活用が期待される分析技術と様々な科学技術との融合を促進する場として、多くの方々にご参加いただきたいと思います。今年からこの特別企画のターゲット分野を、「先端診断」にとどまらず、「創薬」、「未病」、「フードサイエンス」まで拡大。1500m²の特設ゾーン内では、国内外より著名な先生を講師としてお招きし、約38件の基調講演が行われます。また、この領域の研究開発を行っている企業の展示ブースおよびプレゼンテーションエリアも設置され、様々な課題解決に向けたノウハウやアプリケーションの実践例等を数多く紹介します。

分析化学（科学）の発展には、基礎研究や応用研究を支える機器の発展と有効利用が欠かせません。JASIS2015の3日間で、機器の作り手と使い手が一堂に会し、お互いの理解を深め、「未来発見」の場となることを願ってやみません。ぜひ、複数日ご来場いただき、JASIS2015をご活用いただければ幸いです。

〔Masao NOMOTO, 日本電子株式会社, 日本分析機器工業会展示会委員会委員長〕